



誹諧線車
天鼓

15



誹諧線車大成 目録

四季の詞	及發句の切字 下知二のぬ
三のー	誹諧の式
句數并句法	急句のあらわし
少てぬふぬの法五歌	赤藪をふゆり歌
去來の舞	用捨遠近の字
仮名法うゝをり歌	急の詞

淋汚線衣とのみとの有て小冊ありて懐中を
 居りし志うぬも公事ありひた神釈の系う
 の歎はんをしを志うされをけいひうさきもの
 多し一茶本多然乃吳名亦しは用控をらる
 かしに去婚の足あふとをこし一の遠もえ道ハ
 彼を刺足は添てすは初ふのつうひま
 や春うししひるもはあはし

存古之存

春

正月

立春 孟春 時月 上陽 初冬月
 青陽 初陽 初春 太皞月

元日 鶏旦 年始 改年 歳日 新春

年礼 三のけめ 今朔の春 哨の春

四方の春 七川日 七川空 初産 赤玉の年

日のとりめ 初とー 初しき年 年越て 御代の春

君の節 三子日 上元 十五日 立ちたる春 四方降

朔賀 朔降 奏賀 女叙位 祿石

服赤奏 国栖奏 院降礼 男踏歌 削掛 袴

年徳神	恵方	恵方柳	恵方糸	氷のため
若水	井ひき	包井	層菰	辰蘇試
くもん子	大姉	笛かめ	饅餅	饅餅
冬足の饒	雑煮	太とし	あがりち	門松
松かさり	松の内	大たこ	かさり竹	は連飾
福業	庭電	蓬菜	喰つこ	田つくり
ごまめ	小まのち	俵茶	積たち	救の子
押鮎	年男	年玉	姉く	迷歩
玉打	羽根つ	かりたぬ	あきのこ	あきのこ

てこい	福引	宝引	破テ	えあて
弓ちりめ	のりち	馬のり始	船のり始	おつり
湯屋始	着衣始	着小袖	吉書	年とめ
年試	年ちりめ	初商	買とめ	店おろし
将どら	去年	今年	ちりめ	初曆
初芝居	松雛子	くひ始	弾とめ	年とめ
まじり	大玉舞	まじり	ちりめ	三物連号
人日七種	あまみ	いねつむ	いね揚り	水鏡ひ
徳相文	あまみ	子婿の始	小松曳	初宮

くまの春部	初天神	河忌詣	厄神系	左義忠
天狗河盤	魚面富実	小豆粥祝	かひの本	かひつえ
弁つえ	おんち筆	伝ひき	伝不入	本地妙孫
春空	余空	さえろ	凍解	妙さろ
氷のむま	雪解き	孫雪	音消き	伝き
猿魚と祭	东风祐の風	梅このむ	春告き	やう梅
アノ梅	雪右梅	みけの系	飛梅	伝梅
好文本	红梅	地梅	松の花	十ろりのむ
よこさろ	福壽草	下ろえ	雪菜	よろよろ菜

くまの春部	花の塔	三葉芥	よめ菜	ほろ水菜
地大こん	ほろ大こん	ほろ菜	山を焼	やけ地
お降 <small>三つ日</small>	春の雪	春の光		
③ け以下三春	おろろ	勝月	絶尾 <small>白尾</small>	雪 <small>おけい</small>
今衣き	およみき	経よみき	たこき	雪 <small>おけい</small>
春の燃	春の菜	かほき	かふよき	雪 <small>おけい</small>
雪若	弱き	海苔	きのり	いせのり
後菜のり	さろのり	ろろのり	おごのり	海草
お和布	辛皮	独活	防風	烏芋

山葵	菅	芥根白葉	かつ	たんぼく
喜荷	とぬと	蜷	蛭	蛞蝓
白魚	のほろ菜	猫の恋	風中	木の芽
木の芽漬	柳喜柳	風見草	栲	紫栲
春雨	春雨	水やり	長栄	うらく
あゝ	暖氣	ぬくさ	糸栲	陽
牡丹	鹿	八重鹿	栲	鹿の佃
鹿の佃	鹿の佃	鹿の佃	鹿の佃	鹿の佃
佐保姫	春の姫	永日	逢日	

春二月

如月 衣更着 今月 仲春 花相
 夾袴 梅月 小正月 中陽

初年	いなり祭	吉中 餅配	萩奠	春日祭
新能	佛の介	福んえ	福んえ	走馬
積塔	社日	社翁雨	治部	貝とせの風
二日灸	踏音 存宴	初雷	初い	彼岸
出りり	春の序	春の序	乙	帰
鳴子猪	娘子	燕	乙	帰
唇の名跡	丁の	し	雀の子	

蜂の巣	あふ	蛙	うろ子	麻の角	馬刀
田螺	花を待	初花	初さき	ひん楊	
糸梯	橋木	程薄	ふ形	佛座	
さつしま	苗代	水口祭	古幣	羊つる	
あさつき	薊 鬼あき	眉作む	角組芦	菜のむ	
杉菜	せんまい	蕨	子つる	紫のむ	
いさどろ	ねんま	拍把	あひらき	草花	
蚕こく	山の安	風吹	風や	田歩	
畑歩					

春 三月

初生 季春 花見月 楊月 嘉月 春時月
暮春 初春

上巳	曲水	玉をほ	桃のさ	桃酒
雛	茶餅	鶯合	ゆ干	吉成ふむ
壬生念佛	壬生ねん	湯あか	順の奉入	炒めさき
鶯橋	時多の葉	春帰	喜う	あひら
田の風	成 洋生初	桃花	新柔橋	梨花
海棠	ゆき	新書	小茶	御踏
岩つ	き	岩		候

山吹	木蘭花	小豆花	木瓜花	桃丁香花
赤南花	庭橘	蓮華花	小豆まりの花	杏花
梨花	蕪荊花	馬酔木花	林檎花	榴花
柳の花	楊梅花	友花	友花	友花
さうり花	友柳	束花	冷法	金盛花
辛夷	四子二姉一子	こ草	連枝草	金風花
けまん草	丁子草	蓮華	あつま草	かぶら草
菊植る	菊苗	さくら草	九里ん草	七子花
仙臺草	めりうたけ	三月草	三月大元	みずつみ

茶のまじ	茶の産	竹の心	芋植	芋種
水路の花	橘	山すく	沙黄橘	溜さく
曙さく	暗多橘	伊勢橘	江戸橘	火さく
八重橘	有明橘	子本橘	吉野草	人丸橘
淵さく	かま橘	西伊橘	虎の尾橘	意橘
谷橘	善賢像	排さく	糸さく	家橘
西伊橘	相谷	かさ草	橘うり	さく人
さく	平井橘	善染橘	揚吉記橘	さく橘
太山府君	あさ草	夏見草	不新橘	さく橘

夏四月

初夏首夏卯月乾月卯花月孟夏
仲呂早夏余月維月梅天

更衣

白重

裕

綿ぬき

夏衣

筑戸祭

鴻ふり

尚麻法会

練供書

灌佛

仏生會

浴佛

仏の産湯

花供

加茂詣

加茂祭

葵車

葵うつり

糸と神のり

日吉祭

麦秋

麦の秋風

麦

新麦

茶せん茶

立葵

牡丹

ゆき系

北日系

富貴草

花の王

芍薬

芍薬の花

杜若

かほよ花

一八

新尾花

玉衣

玉衣色蕉

志やひ

美人系

茨子花

瑠璃系

風車草

苜蓿花

鴨豆系

踊花

岩ふち

黄ひま

つるぎん花

豆うほ

紫蘭

道々ま

夏草花

菜種買

新梅

芍薬

芍薬

こころ系

菜種

実さくら

柑葉の花

白丁花

厚朴花

香ろの花

卯花

卯花

まてび

桐の花

花柚

常葉落葉

袖茄子

海薺干

時多

四季の田長

ふきり

子規

輕泊 初松魚 風炉の茶 三葉茶 焙炉茶

新葉 かき茶 三葉茶 茶を漬る

三ヶ以下二反小弓の 夏茶 吉山梅 海苔

露 蓼 松系散 木下露 去け目

夏木立 川せし 葎系雀 洲のきり 蚊喰多

筒手 宋吟多 鶴 蝙蝠ふり 蠅をいさ

蟻 飛蚊 了り 蚊喰をいら 蚊やり火

蠅 蚊帳 紙帳 蒲団 生糞 新ふ

臨鳥絨 干鏡 干鏡 鉋飯 飯 一夜を

粘 粘舟 粘句 粘川 粘縄

粘かき 粘金 ほうり 蛭 蚕

納 夏むし 虫 死て火き金 蛆

腐草化して虫と成 地衣ぬく 蝸牛 くら

茶のし 鹿の袋角 夏こり 一夜 夏汐

夏半 夏入 安居 虫やけ 葵さぬ

汗 汗ぬぐ 虫と物 かけ 辻の花

越後ちの羅 暑 扇 團扇

短夜 夏の夜 くら居

夏五月

起月 仲夏 梅月 早苗月
盛夏 茂林 田草月

菘菜

加茂屋抄

競馬

くへ馬

住吉田植

茶茶搦

茶日

茶玉

さあきの玉

七命縷

七命縷

端午

ゆめの蟹

菖蒲草

さう好刀

さう好職

紙のけり

さう好職

さう好湯

さう好酒

さう好帷子

菖蒲草

さう好

糸のゆめ

葺こり

粽

笹ちまわ

松餅

百葉を戦

竹碎日まじり

早月澆

早月雨

さう好

入川

梅雨

虎の目の雨

五片雪

有雪の日トコ

祇園 薬院

富士作新

うつゝの果

鴨の浮巢

水ぎの巢

鴨の子

うろ子

羽ぬけ鳥

雀の巢

子之雀

歎狩

初子ひつこ

照射

こころこころ

麻の子

麻の子

初時

うのせこ

出蕪刈

和布刈

花うつこ

蕪の花

草のむ

むしの花

水草の花

葎うり舟

花菖蒲

石菖

苦菜

芭蕉花

百合

笹ゆり

むしり百合

むしり

鬼ゆり

かの百合

俳百合

むしり百合

むしり

木いちこ

素いちこ

反葉

紫陽草	萱草	よき竹	あの花	まつむ花
うつろ草	金蓮花	忍冬花	まいうつろ	胡麻草
かきくの花	蚊香の草	まじり草	半夜草	半夜草
不竹	なまこ	河草梅子	ここお川	天南星
千日草	使竹花	紫蘭	地層子	薔薇
茄子	子瓜	あき瓜	白うり	赤瓜
胡瓜	河瓜	川胡	粟薈	豆薈
とうとう豆	麦こり	粉麦	きり麦	田ん
子乙女	田ん	子草	あこ	子草

高田	西草	茨の花	さるしめむ	下草のむ
南天花	五月つど	生胡椒	花拓榴	柳の花
未央柳花	栗の花	花榴	榴の香	ふらふらのむ
花榴	中え草	せんごのむ	ま梅	りち梅
うこ梅	梅漬	梅を下	紫の安	りんむ
枇杷の安	槐の花	合歡花	あ竹	今年竹
弁皮丸	竹皮買	竹の系教	笹系教	反教
子松茸	麦松茸	干體	むし	王餘魚
蘇	水馬	須給	半反生	

夏六月

林邊 且月 瓜月 水空月 常夏月
季夏 精陽 風待月 以神月

氷室

氷室貢

氷の序膳

氷水め寸

氷室の写

氷室の搦

氷併祝

富士詣

一夜酒

雷の忌

祇園を去

長刀津

函谷津

月津

新注

薬水津

放下津

船津

任吉踊

座敷の涼

四糸涼

津ツ坂

津とき川

川社

父をくへ

夏をくへ

名この段形くろ

葎の津

葎費

もくへ茶

鞍馬竹切津

津津糸

温風

中ナカの峯

火ヒ天

三伏

薄暑

雨アメのき日

霍乱

夕立

土用干

虫汗

虫をくへ

日傘

たむびくろ

抱籠

竹婦人

納涼

暑を避く

清水

葛あ

香需散

干飯

道河寺

掛香

玉や麦

漿油作

玉タマの作

さらし井

田小水引

涼涼く

川狩

火路り

くらげ魚

鮎魚

沖籠

新あめ

ふた

あ牛房

反切菜

彩菜

吸菜搦

りま菜

搦ナを搦

子桃

楊桃

そり

アムアムこ

百日紅	凌霄花	沢庵	に骨	蓮花
かんひ	てんせんむ	菫を刈	海草	竹刀草
約薩茶	風蘭	きほり	きんぎょ	きんぎょ
ひあききのむ	茗荷の子	葛の花	紫菀	綿の花
麻州	さくし麻	夏草	かむむ	夏草の糸
出葉尻	朝陽	夕鳥のむ	あきこの花	さくげ
藍州	午時花	夏水仙	きんぎょ	常山木の花
ぎす	中雀草	新中雀草	学多と入	
夏ふりて	夏ふりき	秋ちき	秋の隣	

秋 七月

孟秋 初秋 夷則 蘭月 首秋 相月
 文月 文をろけ月 涼月 孟月

立秋	と初秋	きふの秋	秋の初風	初て涼
扇をひ	扇をひ	扇をひ	扇をひ	扇をひ
扇をひ	扇をひ	扇をひ	扇をひ	扇をひ
織姫	牽牛	朝衣姫	さかひ姫	たきあひ姫
たかまのつめ	女七夕	男七夕	大うひほ	星今
星糸	星の糸向	夫星	星の物大	星の糸
天の川	静の橋	静の橋	妻送舟	妻送舟

於の糸	硯洗ふ	乞巧奠	七箇の池	梶の歌 <small>歌</small>
立琴	七夕の鞠	七種の舟	秋きり衣	うし小袖
芋炊きの露	<small>以房をりて七夕ふも</small>	連ひ袴	六月糸	
桔買	逆の峯入	清水千日湯	盃蘭色	施餓鬼
盆供	堯宗	荷先使	登灵台	堯想
柘強	氏馬	茄子の牛	逆火	送火
大の字の火	舟の火	名居火	湖法の火	こそ秋
麻かしの箸	蓮の飯	蓮の糸賣	炮糸	揚炮糸
もろろ	切糸焼付	糸ころろ	縁色ころろ	紅焼糸

墓詣	あま詣	三井寺女詣	清灵祭	生方玉
盆のつと入	盆の布	草市	踊	かけ踊
盆かきん	踊風	小町躍	いせ躍	念仏躍
題目たまり	夏明	夏步納	ままふ	辻をまひ
量りまひ	花火 <small>正巻</small>	梶の実	奉	西風
盆すしん	盆あきすん	ゆいご	新せうが	三葉もろ
木槿	木瓜の実	常山木花	淡柿	淡橘
柞	櫛目糸	女多花	男多花	友をま
胡ろ序	小車花	芭蕉	木子丸	お秋

糸萩	元町の小萩	まろか菜	天城の萩	古枝の菜
萩殿	蘭の花	芙蓉	ままの萩	観音の萩
桔梗	かぶかや	我木香	まのころの萩	萩
新徳の萩	され萩	淡萩	萩のふ風	仙翁の萩
才切菜	ういんの花	やいとむ	つるの萩	まんじりけ
死人花	若母菜	まろおのむ	若荷花	糸瓜
たしこ豆	垣豆	まろからく	むま	蓮の実花
まげ菜のむ	ま夏の山実	子稲	多菜	菜の花
花神	神の綿	まろの花	若菜	若つむ

桿川	粟穂	稲の花	富菜の花	やき菜
稲むし	田の虫送	虫撰	虫の萩	虫狩
虫のふり	松むし	泣虫	唐虫	玉むし
かぶし虫	まろの虫	義虫	かむきり	冬虫
秋の蚊	物蚊	秋の虫	蛸	秋の蝶
藤のすず	虫のさし	蚊を志ま	虫せんたく	藤の葉
母のさし	まろのさし	まろのさし	初穂	小穂
母まきり	藤の山別	地吹	小穂	小穂
初嵐	二百十日	まの月		

三 けし下之秋よそり 秋風未 千秋未 律の調
 平酒 露 秋風 秋の雪 露
 暮の海 暮の芭 暮の鳥 朝きり
 夕房 狗の房 月 月の桂 うつら房
 うつらの光 うつらの影 かつらの月のお 照月
 三日月 月の舟 月の弓 月の若
 さやけき月 月の兔 月の初 月の後 月の歌
 夕月夜 月を友 月の友 月の胤 月をこ
 月のこ 月の眉 めほり月下月 待宵の月

のよの照 廿之夜 廿夜三三 狗の月 心の月
 夏中月 玉兔 二日月 有明 玉蟾
 月の魚 嫦娥 嫦娥 盈の影 満月
 空月 小空月 空ねど 葉山子 鳴子
 深き 川板 新 片うら うらうら
 時 野のまじ垣 布と時 河原時 時細
 きひ結 蚕 卯ろき いと 秋津三
 うんや 赤蜻蛉 秋の蝶 鬼灯 菊にたこ
 赤葛 葛の葉 厚衣紅 葉結珠 菊の花

糸草茶	新茶	今年米	稲舟	稲おく
稲臼玄く	田刈	小田子	稲不す	稲むしり
稲の垣	秋茄子	蓼の花	穂蓼	秋満棠
きぬさ	衣う川	四子う川	芒	十寸穂の唐
まろほの芒	花やき	志のす	糸やき	一りく唐
尾花	紫苑	鬼のま	北葉	風仙花
月星	露星	喜花	けり花	令別草
無アんこ	何原菘	儂紅	冬瓜	かま瓜
州やち	和らいの花	ま豆	枝豆	散柳

秋 八月

葉月 仲秋 壯月 秋月 厚月
南呂 挂月 月見月 中律

八朔	たのむの祝	八幡糸	浄灵糸	放生會
司召	秋奠	社日	龍田坂	秋の文
名月	くさの月	名言き月	芋名月	新月
三五夜中の初十三夜	待宵	既星	立待月	
居待月	暮待月	外待月	約引	約むし
彼岸	秋拾	秋拾	藍の花	葡萄
鴨上戸	通草	烏丸	木賊刈	牡丹合根

茜垢	山の芋垢	くらり川	菜種蒔	大根蒔
万川菜	苺子蒔	蕎麦の土	芋の種	木犀花
八朝蒔	浪杏	初種	江種	大刀魚
河麻蒔	下り菜	くらり菜	鱧菜	鱧蒔
沙魚蒔	初以	地分	乙子蒔	小魚蒔
乙子蒔	色々	初蒔	丁子蒔	丁の蒔
白丁	膏蒔	あし膏	豆の蒔	大のり
木糸	枳	木枳蒔	所蒔	木糸一蒔
芋蒔	下蒔	熟蒔	蒔一水	

秋 九月

長月 季秋 晚秋 菊月 素秋 芳秋
紅葉月 麻さめ月 指秋 玄月

辛陽宴	重九	菊かさね	栗蒔	例幣使
九日小袖	菊重の衣	あま衣	任吉の升蒔	あま衣
所迄之	新掌會	日蓮古羅解	雀略と成	狼歎を禁
新蒔	今年蒔	中蒔	ざいらく	と蒔
仔の月	十三秋	豆名月	桑名月	二秋の月
月の名蒔	紅葉	色足蒔	あま蒔	柿蒔
揚蒔	名の本蒔	檀	楓	漆紅葉

枳の果 白膠の果 紅糸の果 穀色久ぬ松 枳の色

木の实 板の实 苧栗 蜜柑 椎の实

栗 燒栗 とうち栗 久年母 早李の实

馬勃 菜萹 金柑 佛手柑 早李の实

柚子 抽味吻 抽乾 胡桃 梨

法が梨 拓榴 柝 搥 檠

生の浦梨 ありの实 檠 搥 檠

こち餅 椶の实 西海子 枳殼 菩提子

梅檀の实 椶の实 たりの实 南天の实 海嶽

黄既木 聖花果 漆搥 山の色 山の綿

木の綿 未枯 菜 菜のきを綿 菜合

百葉 菜酒 菜浸 仙萹 斑枝花

経綿 烏既甲草 豆川 慈州 釣志の果

草 ぐさひ 初草 松草 志のふ

ナ活 午草 菟草 天狗草 岩草

取脂草 柳草 いんち 皮草 菜草

針草 松蔭 つか草 菜塚 生姜塚

新草 麦 晚田草 蓮福 干七徳 落植

枇杷花	菜の花	山茶花	八手花	冬牡丹
室木	松の花	落枯	萩枯	名の葉枯定ハ
冬草	石菜の花	冬仙	麦荷	大根川
苜蓿	苜蓿菜	苜蓿大こん	切干作	干菜湯
常の子時	さく時	鴨	あぢのむき	泣鴨
郎鶴	野鶴	初録		
③	けし下	冬ふり	滝沙	滝さゆり
冬さ	手炉	手ゆり	火鉢	火桶
桐火桶	巨燵	炉火	きんほ	冬され

冬籠	冬草	冬地	枯地	冬枯
冬木	落葉	朽葉	木葉敷	枯葉
枯芦	枯尾花	室の松	室咲	夜櫻川
細代草	細代木	水魚	ゆりつけ	鏡
生籠	生油籠	金油籠	油籠腸	浴衣籠
くさめ籠	河豚	ゆりけ	録	鯨突
鯨舟	水鳥	うき舟	死舟	をしの衣
をしの香	樹	むら子香	時ちりり	濱子香
浦子香	川子香	夜ちりり	夕ちりり	小夜樹

友ちより	かむつり	火林火多	雪	雪の花
六の花	雪竿	雪垣	割刺	雪こり
雪丸け	雪女	雪佛	雪やけ	雪やけ
氷	厚氷	氷り	氷氷	凍
綿子	ぬきま	紙ふきま	ぬきま	紙衣
既巾	ぬきん	へきき	睨ヒ	眠アカリ
玉子酒	こし酒	りし酒	細きけ	葱根酒
茗麦湯	炭竈	炭うり	まわり炭	白炭
積火	ほし焼	短日	冬の月	

冬 十月

仲冬 復月 霜月 芙蓉
 壬戌月 天正月 神未月

冬至	朔旦冬至	宮線を添	吹草糸	吹火焼
山神祭	山の禊	神未	かき歌	小忌衣
小忌の袖	里神未	豊明節會	新掌糸	童女禊洗
室也忌	鞍恩禊	清仏事	西元越	大師禊
芝居敷忌	盤坐	袴着	帯さき	被衣初
豆袋	単豆袋	雪香	つかぬき	かんどき
雪のり音	吹雪	雪かき	雪け	雪

粟	ミソレ	白散	アサレ	霜	ホコ	氷	ヒケ	氷	面	積
凍	コウ	あ	ウ	葵	コ	子	子	子	子	子
冬	冬	冬	冬	冬	冬	冬	冬	冬	冬	冬
初	初	初	初	初	初	初	初	初	初	初
冬	冬	冬	冬	冬	冬	冬	冬	冬	冬	冬
整	整	整	整	整	整	整	整	整	整	整

冬十二月

極月 春竹月 季冬 臘月
師走 才月 大呂 歳末 歳暮

正月	奉	始	和	布	川	神	事	伊	名	年	内	立	春	追	儺
兔	や	ら	ひ	若	分	厄	も	ひ	厄	落	一	厄	塚	立	
於	す	す	鰯	取	す	豆	打	臘	八	雪	月				
雑	公	祿	札	納	燂	掃	燂	毛	ひ	燂	掃				
候	花		寒	入	菜	箸	雪	垢	離	雪	菜				
宇	念	佛	宇	務	古	宇	声	宇	さ	ら	宇	見	巴		
臘	梅		宇	椿		鶺	鴒	の	巢	八	目	鐘	子		

陸録	歳首使	衣配	掛乞	鉢町
茶兌賣	年木樵	名季ム	破广大賣	こ板賣
門松賣	系竹賣	曆賣	古曆	屯果曆
右子屯曆	曆の未	年の終	年の忘	宝舟賣
宝舟賣	裏白賣	年の市	忌厄	門松賣
年のくれ	喜を隣	喜近	春待	ゆ年
年の尾	流る年	年の終	年の冥	年暮り
年の活	年の坂	年の漱	之冬み	小晦日
大晦日	除夜			

尚世上よりいさゝか淋落師の内にもきくもあつ
 りたむのうのうはひひく人き年をおさる
 切字のうひもうも階合の意味といふ事
 各々才進翁の教をけり小節ありき
 名持の事なりと志しと縁起たのむる事
 人めと教るふるありあやまりてか
 風流は遠なるうす淋落のうに新古ハあれも
 終り新古のうはらなふものといふ
 何しかり又何り古ふんといふ事
 をいふ

○發句切字集 三の

卦 之 氣 多 たり 希 り な め り や そ 見
 ん 子 子 希 一 な 一 や 一 は 一 一 一
 たり 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
 希 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
 △下 希 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
 △ぬ 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
 △三世の 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

現在 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

未来 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

一 二 一 一 一 一 一 一 一 一 一

過去 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

大畧此類少し考ふる一又一の切りの切字
なくして發句にぬりあり是亦ハ師傳を要す

○誹諧之式 百韻七十二候 源氏四十四歌仙

表八句 七句め月定座但秋の委句 裏十四句 九句め月定座

二ノ表 十四句 十三句め月 二ノ裏 十四句 初裏十日

三ノ表 十四句 二ノ表十日 三ノ裏 十四句 二ノ裏十日

名残表 十四句 三ノ表十日 裏 八句 七句め花定座

七十二候之式

七十二句 八日身の三ノ表裏一折 抜うるとのなり
五十句 八日身の初折ニ折勿落也

源氏之式

表六句 五句め月定座 裏十二句 七句め月

二ノ表 十二句 十一句め月 二ノ裏 初裏十日

ナユリ表 十二句 二ノ表十日 裏 六句 五句め花

四十四之式

百句の初折とナユリの一折と合て四十四句なり

歌仙之式

表六句 五句め月 裏十二句 七句め月

二ノ表 十二句 十一句め月 二ノ裏 六句 五句め花

七八九一二三四五六 五六七八九十一二三四
 六七八九十一二三四五

○句数之事

△春秋 三句より五句をもつて
二句よりハ推す

△夏冬 二句より三句をもつて
三句よりハ推す 但冬句と月花のみ

△恋 二句より三句をもつてハ推す
三句よりハ推す 古式ハ五句と
あはれハ三句よりハ推す

△神祇 知教 旅懐 旧水边 山顔 夜分 居所

はなはたの句ハ銀子ありしうへハ
はなはたの句ハ銀子ありしうへハ
はなはたの句ハ銀子ありしうへハ

△名所 国名 降物 降物 生類 植物 時分 衣類

天象 飲氏 藝能 火鉢 書軒

はなはたの句ハ銀子ありしうへハ
三句めを有る人ありしうへハ

○句去之事

△人倫 名所と玉名 降物と降物 朝と夕 木と草と

竹と替 虫と名と歎と替をのくニ句去ニ字仮名も同

△人名 火神 降物 降物 木と木 草と草 名と名

歎と歎 虫と虫 夜分 時分 衣類 懐旧 居所

旅新 祓祇 親教 至常 山顔 水边

此は三句の法門一系相も舟駕馬と有りて三句去へし
抄かして有りて

△同字も詞系系旅系の文字ハ三句まで有り頼朝の御

そとハ付ても不若系本を親田季の系相ハ三句の

意味をうへて抄又一句の中すむ七句と云へし

△父母男女の親ハ人傳の凡例ハ父と母とハ七句去へし

△至惟弟獨姉妹ハ人傳の所有り人傳と定て
キリを分るる事

△借寺ハハ借居不ありすといふも
辨ふ事

△親王皇女六女帝仙洞院此は親人傳とあれは白紙といふて
をきりし事

△精寐 眠日 夢り 虫 礎 此は夢を以て寝る事なりし事一合を
くまらざる事

○ 手系旅業の歌 經白のて當りる根のてふては本ハ
師傳をえたる

ふて當りたさへ字をえもかりぬをま
に當り上へまハ一おさしむり

△ 舟越をゆゆる歌

帆や細釣の系なき生れし
あつと波かへにうちこつぬいむ

△ 去娘の歌

衣素や竹田の船政後なること
月松枕ふいと去へし
之用捨を乞ふ歌

清く是よ怪異祀也小次事罪科
天災不順不孝不忠義
近代の事人乃清若官名と
それと去るハ白紙上といむ
世民とも今居る人忠名をいさす
家この秘事我友乃

あさまりてくる衣の白に氣を自よ
祓ひの庭又遠若のと記
神祓と歌乃竹授わらす
判者も怠を除く屋きなり
連考は堀川百首まをを引
洲みも二十年來ハせす
二祓儀といむを乞ふ歌

位なきこと邊河さし地夕輝
秋さり衣玉乃結柳

詔をさふ侍りたるも夜散あろま

命のきつりし事を起しよ

△婿礼新宅爰お追若え彼ふゆ之歌

祝言ふ裂く退くいぬる飽いと度

むより婦さひ絶境をいむ

むまの約猪乃声又あつる啼

やとえ言ふ追ふ一の種

新宅よきく火の鳴肝つ寄

ちきりてゆる倒るあふ

爰おめら謔言流人爰さひ

陳り負のく落引のさこ

追若ふらうし之流に落まよふ

祈禱しおたり叶あをいむ

元服し髪をふいむ神を月

紙まりたまむ元山の歌

祈のかりあていむるさハ別れを

睦^{カレ}了まらむとさるるの類

○ 仮名つゝひの事

仮名はつゝひをいふは、
とて、和名の一軒なりか
やまふをいふは、
なまの仮名のちうひき
中あとかかざるあはれ
るいゝひいひの類は、
えらりきなりたふ記し

おほむの事はなりや
仮名斗の物をよむは、
るを舟へおのけしは、
いゝのちあひ我斗し
終るくもあふは、
△ 橋のいを下にす

△ 田すもぞこい
たいをふらひり
たいをふらひり

程

紐

頼

見

在

灰

△月下小字声

こゑりよむ字れ下のいゝを
再細 例 志すいなる
ほ成をとむ仮名

声を綴てすむ字のをあらほを
推 蕪 薰 庵 塩 竿
のうほ へるいゝを 志す

△焼のへり仮名

陶 白妙 白鳳 堪魚

をーのへらひふへとかう
思 願 叶 伴
おもふ けひを かなへ ともあふ

△月ひを除るの入かかのみ

ひをのれきしゆふるをかかふ仮名も有

榮 教 植 孫
さく ちか ちか ちか

△焼のを成上小字声

をーのをハちんさく けきと

△奥の木の字す

各 をのり 己 をのり 小舟 をのり 音 をのり

おくの木の字す

尾 おのり 多 おのり 思召 おのり めさしよ

一をた 将 産の事 男ハたとこ女ハをんを

桶 小桶 男 小男 小男 お 多 お

おのり おのり 熱 おのり 面白 おのり

△うの字とむよ後かゝ

うの仮名よむの字をすハ鼻へ入

馬 むま 鳥羽 むま 梅 むま 埋木 むま

△下よすうの字 日声の初かゝなり

うの仮名よふの字をすハ入声ノ字

逆後 う 蠟燭 う 法 う 在居所 う

△中のでろ 正字衣

中のでろハ中ふゆとわく

△奥の忍を下に半半

カウチ タエ 越
まーいえ ね ゆ お ゆ こ え の 字

おろの忍下下に半字

声 家 赤 杖 元 正 染 の 丸 多 赤
こ忍 い 忍 ま 忍 は 忍 忍 り ん さ を 忍

中のめり半

中のめり半 ま と と ま ま 仮 名 そ う

重 井 紅 田 君 椎 柴
く と る と 進 を る ま と る 志 の 志 を

△其字におろる仮名の有る

そなりりてめまの仮名かなをとり

位 於 きて 正 宿 在 独
く め お わ て と の め め の 志

本のあふ

ま く い り に か ふ 仮 名

明闇軽重安

ヤスキ
ヤスク
ヤスイ
ヤスウ

たをいさぎと結ぶ思ふをうけ白梵庵馬房歌
津路にたのしみよきる
あとのこころをさるる

尾張

存古齋藏板



寛政十一己未歳中秋

蘇門答臘の島に在る
蘇門答臘の島に在る
蘇門答臘の島に在る

日入るる

雪夜

雪夜
雪夜
雪夜

